

市制施行70周年 記念式典

市制施行70周年について

昭和29年、2町3村(鳥栖町、田代町、基里村、麓村、旭村)の合併により鳥栖市が誕生し、令和6年4月1日で市制施行70周年を迎えました。

市制施行70周年という節目をきっかけに、これまでの歴史を築き上げてきた先人たちへ思いを馳せ、鳥栖市に関わる全ての人々と共に、この節目を楽しみながら祝い、そして、鳥栖市と共にこれから生きていく将来世代のために、さらなるまちの魅力向上と、よりよい未来への飛躍につながるような記念事業を実施しました。

70周年記念事業のテーマ

『はなまる・はなまる・つなぐ鳥栖』

『はなまる』は「素晴らしい」「よくがんばりました」といった意味合いで用いられる、身近で親しみのある言葉です。誰も一度は、学校の先生にはなまるをもらって誇らしかった経験や、はなまるを目指して一生懸命頑張った思い出などがあるのではないのでしょうか。

誕生から70年を迎えた鳥栖市も、先人たちのさまざまなはなまるエピソードと共に発展し、これまでの歴史が築き上げられてきました。そして、現代の私たちは、新たなはなまるエピソードを未来に残し、発展の歴史をつないでいかなければなりません。そんな思いをテーマに込めました。

また、時間的なつながりだけでなく、鳥栖市は古くから九州における交通結節点として、人、もの、文化など、さまざまな事柄を『つなぐ』役割を担ってきました。これからもその特長を生かし、九州における唯一無二のまちとして、さらなる存在感を発揮していくという意味も込めています。

記念事業のシンボルマーク 『はななまる』

テーマに合わせ、シンボルマーク『はななまる』をデザインしました。

世代を問わず、親しみと愛着が持てるキャッチーなもので『70周年記念』を端的に表しています。外側の丸矢印は、九州陸路交通結節点の『つなぐ』鳥栖を表しています。九州の心臓部の役割を担う鳥栖市から各地へ延伸する陸路を動脈と静脈に見立て、鳥栖市を介しさまざまな循環が生まれるイメージを表しました。

『はななまる』で連想される色は、先生が丸付けで使う赤ペンや朱色の墨汁、スタンプ朱肉など、いわゆる『朱色』ではないのでしょうか。一方、動脈で連想されるのは、鮮やかな『紅色』です。そして、鳥栖市で赤色といえば、市の木であるモチノキがたわわに実らせる赤い実です。これら3種の赤色を混ぜ合わせた『トスレッド』を配色の基調とし、鳥栖市の広報媒体である『市報とす』や旧庁舎へ掲げられた市章の色として馴染み深い青色を『トスブルー』として使用しています。



(シンボルマーク)はななまる

6月2日(日)、市民文化会館で鳥栖市市制施行70周年記念式典を開催しました。

第1部は、特別自治功勞表彰、鳥栖市市制施行70周年記念感謝状の贈呈を行い、第2部は、鳥栖市の高校生と鳥栖市で青春時代を過ごした俳優の木下晴香さん、お笑い芸人・俳優のオラキオさんと向門市長による『青春とまちの関係性』をテーマにしたシンポジウムを行いました。



■特別自治功勞表彰

市勢発展の軸となって活躍された歴代の市議会議長に贈りました(順不同・敬称略)。

✿ 齊藤正治(第23・25代市議会議長)、中村直人(第24代市議会議長)

■鳥栖市市制施行70周年記念感謝状

永年にわたり、スポーツ・文化行政ならびに市の発展に大きく貢献があった人・団体に贈りました(順不同・敬称略)。

✿ 公益財団法人二又教育文化振興奨学会(文化芸術振興へ貢献)、特定非営利活動法人市村自然塾九州(青少年健全育成へ貢献)、緒方孝市(青少年健全育成へ貢献)



記念表彰の受賞者の皆さん



オラキオさん(中央)と木下晴香さん(右)



市内3校から代表して参加した高校生たち

◀第2部の70周年記念シンポジウムの様子。市民の皆さんから寄せられた写真やゲスト2人の幼少期や高校時代の写真、高校生たちのおすすめスポットなどに対して、思い出などを交えながら語り合い、和やかな雰囲気で行われました

今回の式典は、市内の高校3校の協力も得て、舞台横断幕の題字を鳥栖高校書道部の皆さん、受賞者への記念品の一つを鳥栖工業高校建築部の皆さんが制作。式典当日は、鳥栖商業高校吹奏楽部の皆さんがウェルカムコンサートで花を添えました。

また、鳥栖市をホームタウンとする2つのプロスポーツチーム、SAGA久光スプリングスとサガン鳥栖の70周年記念バージョンの特別ユニフォームや、市民の皆さんから寄せられた『鳥栖市内の心揺さぶる風景』を同館ホワイエに展示。友好交流都市であるドイツ・ツァイツ市からのお祝いのメッセージ動画も放映しました。



鳥栖商業高校吹奏楽部による演奏



『心揺さぶる風景』のパネル展示



ツァイツ市からの祝いメッセージ



70周年記念の特別ユニフォーム